

枕崎市 地域学校協働活動だより

令和7年1月号

パソコンで検索

枕崎市地域学校だより

検索

スマホで読み取り



発行

枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～郷土芸能の「駒水ヤンセ踊り」を学習 郷土芸能祭で踊りの披露～ 別府小学校



別府小の学習成果発表会で踊りを披露

水秋則さんが踊りの学習の時に毎回学校に来て、子供たちに踊りを指導してくれています。

5年に一度開催される枕崎市郷土芸能大会では、大勢の市民の方々に前に子供たちが別府の郷土芸能を堂々と踊っていました。狩衣姿にキツネや天狗の面をかぶった古式ゆたかな踊りに、観覧の人たちの大きな拍手を受けていました。



市民会館の郷土芸能大会で踊りを披露

～自分たちで育てたもち米で 5年生「もちつき」～ 桜山小学校

12月14日、5年生21人が自分たちで育てたもち米を使ってもちつきを行いました。栽培からずっとお世話になっている山崎己代治さんに加え、桜山校区老人クラブ7名の方々にも御協力いただきました。

もち米をせいろで蒸していると、周りにとっていい

あんこを中に入れてもちを丸めます

い香りが広がりました。蒸されたもち米を食べてみると、とっても美味しく子供たちも感動していました。

いよいよもちつき。

実際にやってみると見た目以上にきねは重く難しかったようですが、みんな笑顔でチャレンジしました。丸める作業も教わりながら1つ1つ丁寧にやりました。完成したもちは、それぞれ持ち帰っておいしくいただきました。



笑顔でもちつきにチャレンジ

～九九の暗唱を ボランティアの 方々がお手伝い～ 枕崎小学校



一生懸命に暗唱しているところ

「かけ算九九を覚えるのは、小学2年生のメインイベントと言える学習です。「かけ算あんしょうカード」を使って、一の段から九の段まで覚えられているか確かめをします。今年も枕崎校区の老人クラブの方々が、各クラス3名以上、11月21日には6名、12月5日には7名の方が来校してくれました。子供たちが九九を暗唱するのを確かめて、できていたら「凄い」「良くできました」と褒めながら合格シールを貼ります。できていなかった子供には「頑張ろうね」「もう少し」などと励ましてあげます。

子供たちは何度も九九の暗唱を聞いてもらいながら、全部の段に合格シールを貰えるように頑張っていました。



上手に言えました 合格！

～家庭科でミシンの使い方の指導～ 桜山小学校

桜山小学校では11月15日、22日に6年生、12月3日、4日、5日に5年生の家庭科でミシンの授業があり、「たけのこ」と「家庭倫理の会」の延べ17名の学校応援団ボランティアの方々が指導してくれました。



オリジナルのエプロンを制作中

6年生はナップザックなどの制作、5年生はエプロンの制作に取り組みました。布にミシンで縫う部分のしるしを付け、まち針で止めてからミシンで縫っていきます。

ボランティアの方々が子供たち一人一人に丁寧に対応していただき、制作作業がとてもスムーズに進みました。

最初は慣れない手つきでミシンを操作していた子供たちでしたが、時間が経つにつれ上手になり、それぞれの作品を縫い上げていました。



完成したナップザック

～読書活動で民話を伝承～ 立神小学校

立神小学校では読書活動の一環として民話の伝承を行っており、枕崎市立図書館の職員の方々に来ていただいて、11月22日に4～6年生、29日に1～3年生に民話の読み聞かせを行いました。

「民話の伝承」は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねていて、地域の子供たちに日本の民話を語り継いでほしいということで、毎年行われています。

今年読み聞かせをしたのは「しおふきうす」という民話で、「海の水がしょっぱいのは、海の底で今も臼が塩を吹き続けているから」というお話です。絵を下にロールさせると画面が展開していく大型の絵巻に、子供たちは興味津々に聞き入っていました。

市立図書館が製作した絵巻による民話は他にも3話あり、いずれも市立図書館の職員が文と絵を描いた力作です。絵巻による民話に興味のある方は、市立図書館にお問い合わせください。



「しおふきうす」の絵巻に興味津々